

## 【基本的なコロナ感染症対策として】

### ① 健康観察

- ・家庭や試合会場で朝、受付時、大会終了後に行い、風邪症状がないかなどの健康状況を確認する。発熱等の症状が見られるときは、無理に大会参加をせず自宅で休養するようにする。
- ・参加者は、健康チェックシート（様式1・2）を、大会当日の受付時に大会本部に提出する。

#### 【各チームでの確認事項】

- ・(ア) 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている場合、(イ) 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合、特に、基礎疾患等のある選手等は、(ア) (イ) の状態が2日程度続く場合は、医療機関に電話連絡し、指示に従うよう促す。
- ・選手、指導者及びその家族に、新型コロナウイルス感染症等が疑われる症状が出た場合、各学校に報告するとともに、保健所にも早急に相談するよう周知しておく。

### ② 手洗い・咳エチケット

- ・外から会場等に入る前、トイレ使用后、昼食の前後に加え、共用の用具（ボールやラインフラッグなど）使用後には、選手等に対し流水と石けんで手を洗うように指導する。
- ・咳エチケット  
（①マスクの着用、②ハンカチ等で口・鼻を覆う、③袖口で口、鼻を覆う）を徹底する。
- ・集団感染のリスクを避けるため、特に屋内では、不必要な会話を避け、近距離での会話や発声が必要な場面では、マスクを着用するよう指導する。

### ③ フロアなどの環境・換気

- ・感染防止の「3つの密」（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、密接な近距離での会話や発声）が重なる場を極力つくらない。
- ・試合以外の場において、可能な限り、荷物の管理や更衣の場所など1メートル以上の距離をとる。
- ・出入り口や窓を開けておいたり、換気扇を用いたりして、十分な換気に努めるとともに、使用時には人の密度が高くなるよう配慮する。
- ・出入り口の制限や待機座席の指定などを行う。

#### ④ 施設や用具の消毒等

- 選手等が特に多く手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、ボール、ラインフラッグなど）は、定期的に消毒液（次亜塩素酸ナトリウム希釈液や消毒用エタノール等）を利用して清掃を行う。

#### ⑤ その他

- 持ち帰り用のビニール袋を持参し、使用後のマスク及び口や鼻のまわりを拭いたティッシュペーパーについては、持ち帰る。
- タオル及びハンカチを持参し、他人との使いまわしをせず、こまめに手洗いをする。

### 【緊急時の対応】

#### ① 感染症が疑われる発熱や体調不良が発生した場合の対応

- 全試合を中断する。
- 救護室等での一時休養は行わない。
- 濃厚接触者の特定をし、検温等、体調確認をする。
- 山口健康福祉センターに相談し、指示を受け病院へ搬送する。
- 原則、保護者への引き渡しをする。時間を要する場合は引率者への引き渡しをする。
- 安全が確認できるまで、**全員へ待機や会場から退避等の指示**をする。

#### ② 大会終了後の発熱について

- 大会終了後も引き続き、健康観察を行う。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに状況（氏名、症状、行動の履歴など）について報告する。

### 【その他】

#### ① 個人情報の取り扱いについて

今回得た個人情報について、個人情報保護法に基づき適正に取り扱い、次の目的以外には利用しない。

- 万が一、感染症陽性者及び感染の疑いがある者が発生した場合、濃厚接触者の早期発見と早期対策を講じるため
- 濃密接触者への早期対策で、山口健康福祉センター及び教育委員会へ相談・報告を実施するため

#### ② 山口南総合センターでの安全管理について

山口南総合センター会場については、本マニュアルの内容、大会運営者の指示に加え、**施設管理者の指示にも従わなければならない。**